

令和6年度第2回鳥取県教育審議会生涯学習分科会兼鳥取県社会教育委員会議の概要について

令和6年12月26日 社会教育課

- 1 日 時 令和6年12月19日（木）午前9時30分から午前11時40分まで
- 2 場 所 県立倉吉体育文化会館 中研修室
- 3 出席者 別紙のとおり
- 4 会議概要

(1) 会長、副会長選出

鳥取県教育審議会条例第10条第3項及び第5項に基づき、次のとおり委員の互選により会長を選任し、会長が職務代理者（副会長）を指名した。

会 長：川口有美子委員（公立鳥取環境大学准教授）

副会長：清水秀満委員（鳥取市立美保南地区公民館館長）

(2) 事務局説明

生涯学習分科会の概要及び社会教育委員の役割について

鳥取県教育審議会生涯学習分科会の所掌等、並びに生涯学習・社会教育の定義、社会教育委員の職務等について、事務局から説明を行った。

(3) 事務局報告

鳥取県子どもの読書活動推進ビジョン（第5次計画）案及びパブリックコメントの実施結果について

「鳥取県子どもの読書活動推進ビジョン（第5次計画）」案の概要、並びに第5次計画の検討を進めるにあたり実施したパブリックコメントの結果について事務局から報告を行った。

（事務局の報告概要）

- ・令和6年度第1回鳥取県教育審議会生涯学習分科会での委員の意見も参考に、「鳥取県子どもの読書活動推進ビジョン」第5次計画案を作成した。また、第5次計画案の概要を県民に示し、令和6年10月18日から1ヶ月間、パブリックコメントを実施した。
- ・パブリックコメントへの応募件数は13件、また、意見数としては29件の意見があった。県民からの意見も反映しながら、令和6年度中に「鳥取県子どもの読書活動推進ビジョン」第5次計画を策定する予定である。

(4) 研修

「多様な子どもたちへの読書推進のために」（講師：専修大学文学部 教授 野口 武悟 氏）

野口教授によるオンライン講義を受講し、子どもの読書活動の現状や多様な子どもたちの読書機会の確保、デジタル社会に対応した読書環境の整備等について理解を深めた。

（委員からの主な意見）

- ・司書教諭の専門性や存在を大切にしたい。若い教員の司書教諭の資格取得が進んでいないように感じる。資格取得に必要な金銭面の負担等も含めて、条件整備されていくとよい。
- ・高校生以上の不読率の高さの原因は何か。高校生のヒューマン的なものか、あるいは環境か。原因に対する打ち手を効果的に考えていくことが必要ではないか。

(5) 議事

ア 任期中の調査・審議事項について

令和6年11月26日に開催された鳥取県教育審議会において、県教育委員会から「今後の生涯学習のあり方について」諮問がなされ、生涯学習分科会に付議されたことから、今後、答申に向けて審議していくことが了承された。

イ 令和7年度社会教育関係団体への補助金について

社会教育法第13条に基づき、令和7年度当初当初予算（要求中）で社会教育関係団体へ交付予定の補助金の内容について、事務局の説明を聴取したのち承認された。

（事務局の説明概要）

- ・令和7年度の補助金は、令和6年度予算と同額を予算要求中。補助金の額については、本来であれば3年に1度、過去3年間の補助対象経費の平均をベースに見直しをしているが、新型コロナウイルスの影響により事業の中止等があり算定が困難なため、令和7年度予算においても現状の補助金額を維持している。
- ・臨時的な補助金として、日本ボーイスカウト鳥取連盟の第19回日本スカウトジャンボリーのプレ大会に対する補助を予定している。

令和6年度第2回鳥取県教育審議会生涯学習分科会兼鳥取県社会教育委員会議名簿

氏名	所属・職名等	備考
池田 緑	鳥取県子ども読書アドバイザー	
植田 紀子	株式会社新日本海新聞社編集制作局報道部長	
大堀 貴士	認定特定非営利活動法人ハーモニカレッジ理事長	
川口有美子	公立鳥取環境大学准教授	会長
木村 佳奈	南部町地域おこし協力隊	
小林まゆみ	鳥取県連合婦人会	欠席
清水 秀満	鳥取市立美保南地区公民館長	副会長
清水まさ志	鳥取大学地域価値創造研究教育機構准教授	
高尾 裕子	鳥取県PTA協議会会長	
竹本 幸子	北栄町立北条こども園長	
中田 寛	倉吉市教育委員会教育長	欠席
福田 範子	日南町教育委員会事務局教育課総括室長兼生涯学習室長	
森脇 昇	日本ボーイスカウト鳥取連盟副理事長	
淀瀬 由美	倉吉市立上北条小学校長	